

「絵夢の会」

作品に個性築き12年目

黒部市三日市のカフェ「花いかだ」で、富山市の知的障害者でつくる「絵夢の会」メンバーによる個展が開かれている。メンバーの中から7人が、10月14日までの会期中一人ずつ約10点の作品を並べている。現在は、家族や乗り物などを温もりある表現で描く村下陽一郎さんの作品を展示している。豊かな絵画表現を生み出すメンバーが制作する場所を訪ねた。

「もう少し白色を混ぜた力強く筆が進んでいく。アライヨ(この色はアライヨ) ドバイスに対する生き生きとした顔と迷うことなく進むの一言に、制作に集中して絵筆の率直な目を見張る。いた手が一時止まる。川井さんの顔を上げると笑顔の会場の8月度絵画教室が、8月9日(日)、富山市の市民芸術創造センターで開かれ、2002年に障害者と絵画をつなぐ会として発足し、今年12年目を迎えた。現在も障害者や自閉症を持つ約10人が、絵画の制作に取り組んでいる。

午前10時過ぎからメンバーが集まり、各自で準備を始める。制作台に広がる画材は絵の具やサインペンを始め、色画用紙や紙コップなど多岐に及ぶ。近くで見ると、集中力の高さや作業が細かく丁寧なことに驚きを受ける。村下陽一郎さんは、約10色のフェルトペンを使って作品を仕上げている。家族の思い出をテーマにするものが多く、今回は花火と家族6人を描いた。短い線の組み合わせで、外側から内側へと花火の大輪をつくりあげる。また、佐伯真魚さんは、レッサーパンダのぬいぐるみ「パンちゃん」を常に作品のモチーフとして描いている。紙皿やカラーボードなどに描く「パンちゃん」は、一つとして同じ表情、色調のものはない。どの「パンちゃん」も愛らしく踊り出しそうな躍動感がある。指導に当たる川井さんは「自分を表現するため、自分が描きたい絵画に素直に気つき、続けていくことができる。障害があるからこそできること」と、マンネリ化せずに豊かな表現が継続できる理由を話す。「作品を見てもらうことが励みになる」と、過去にも富山市や射水市で個展を開き、今回初めて黒部市で開催した。7人が順に作品を展示している。紙皿やカラーボードなどに描く「パンちゃん」は、一つとして同じ表情、色調のものはない。どの「パンちゃん」も愛らしく踊り出しそうな躍動感がある。指導に当たる川井さんは「自分を表現するため、自分が描きたい絵画に素直に気つき、続けていくことができる。障害があるからこそできること」と、マンネリ化せずに豊かな表現が継続できる理由を話す。「作品を見てもらうことが励みになる」と、過去にも富山市や射水市で個展を開き、今回初めて黒部市で開催した。7人が順に作品を展示している。



月に一度の絵画教室では、生き生きとした笑顔があふれる
=富山市呉羽町の市民芸術創造センター

10月14日まで黒部市の「花いかだ」 展示の場 カフェで身近に



福島貴大さん

福島貴大さんは、詩や童謡からイメージをふくらませて絵画を表現していく。葉や雨粒一つひとつに顔を描いたり、白色のみで描くことで対象物を効果的に見せたりする繊細な工夫を感じる。思わず笑顔になる、可愛い動物の仕草が見える作品も多い。



内堀惇丈さん

内堀惇丈さんは、独自で作り出したキャラクターを細やかに描いている。通常のスケッチブックから、現在ははがき大の小さいサイズへと変化し、定規を使うことで表現はさらに緻密になった。紙皿に描くキャラクターもほのぼのとした優しさがある。



本田淳一さん

本田淳一さんは、瞬間的なイメージで素早く絵の具を選んで抽象画を仕上げている。大胆な色使いに感じながらも、完成すると見事にグラデーションをつくり出している。最近では「黒や紺色の濃いバージョンが気に入っている」と話してくれた。

水中生物の「家」に注目

7日まで魚津水族館

魚津市三ヶの魚津水族館で、夏の特展「イエー! みんなの家」が開かれている。富山県の高い持ち家率にちなんで企画した。魚で詰めあつて住処にし、決りや生物の様々な家に注目し、造りや用途についても紹介している。9月7日(日)まで。

人気のクマノミも展示



水中にある様々な家に見入る来館者も多い
=魚津市三ヶの魚津水族館



このほか、ヤドカリの貝類の生物を見つめるゲームも設けられている。サンゴのコーナーでは、複雑な地形をつくるサンゴが多く、魚の住処になっている。このように、生きたサンゴの重要性も伝えている。

富山県立魚津水族館で、夏の特展「イエー! みんなの家」が開かれている。富山県の高い持ち家率にちなんで企画した。魚で詰めあつて住処にし、決りや生物の様々な家に注目し、造りや用途についても紹介している。9月7日(日)まで。

31日まで「いきいきKAN」 名所や特産品PR 立山町の魅力発信



立山町の観光物産PRコーナー

立山町観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。

立山町観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。

立山町観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。



素朴な風合いの人形が並ぶ

造形作家川井昭夫さん

先生の顔



同会の発足時から指導にあたっている。教える上での、何かを強制することは「必要ない」と断言する。「本来、絵画は自分を自由に表現するための手段」と、他者とコミュニケーションの獲得もあって今までの「自己表現の確立見守る」を、川井先生が自身の表現で、人柄と優しさのおかげで、大切な手助けと話す。「自分を絵画で表現し、褒めて認められることで自信がついていく。地道な経路の積み重ねで、やりたいことを実現させていく。」

月夜と音楽の時間を 6日内山邸で観月の会

富山市尾尾の「豪農の館」で9月6日(土)午後3時半～9時、夜間を特別演奏会・茶席の夕べ「観月の会」が開かれる。「観月の会」は、観月・尺八が奏でる月のしらべ演奏会・茶席の夕べ「観月の会」が開かれる。「観月の会」は、観月・尺八が奏でる月のしらべ演奏会・茶席の夕べ「観月の会」が開かれる。

富山県民会館分館 内山邸
観月・演奏会・茶席の夕べ
9月6日(土) 午後3時30分～9時
会場：富山県民会館分館 内山邸
入場料：一般大人500円、小学生300円、中学生400円
観月：午後3時30分～4時
演奏会：午後4時～5時
茶席の夕べ：午後5時～9時
問い合わせ：076-432-4567

立山町の観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。観光物産PRコーナーで、立山町の魅力を発信している。